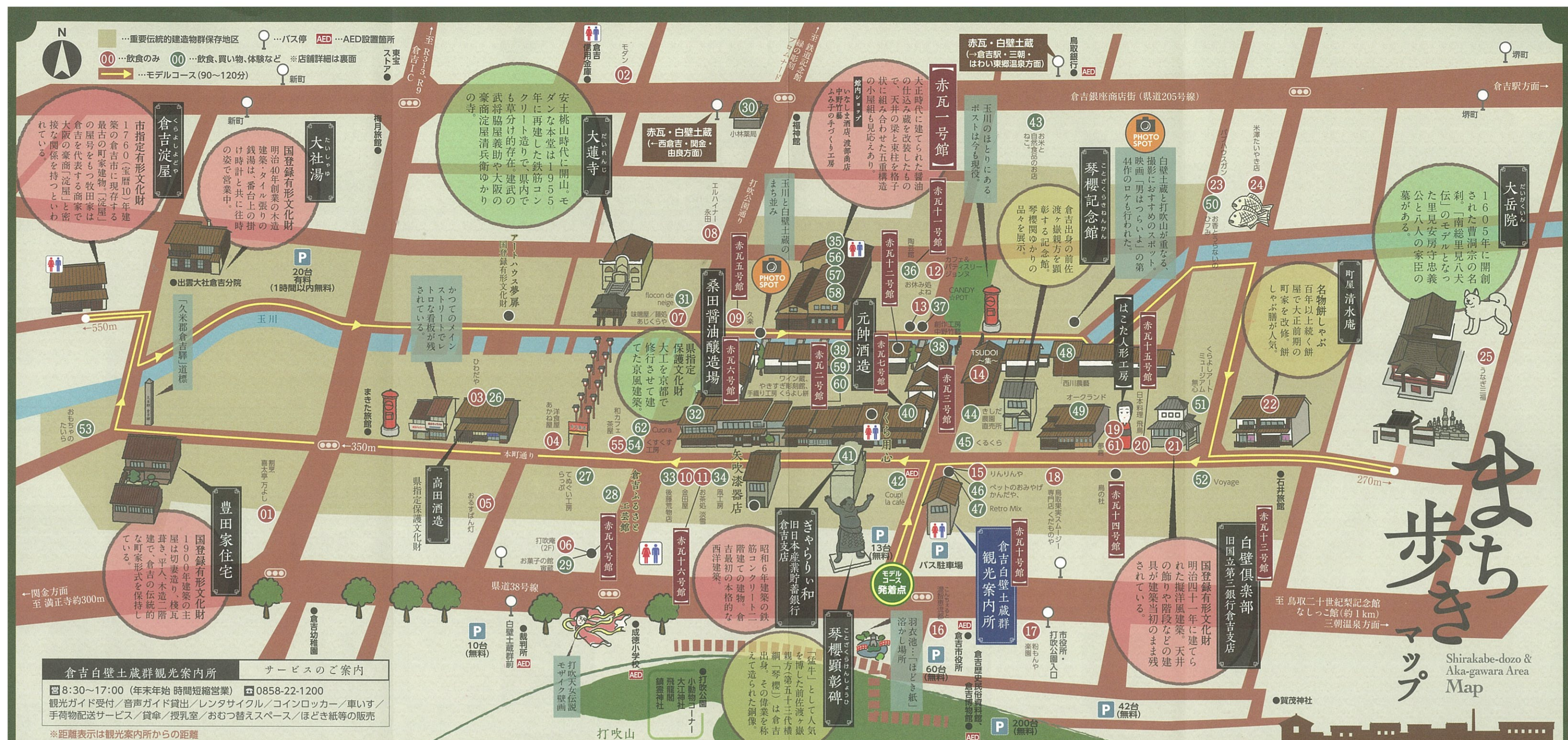




倉吉白壁土蔵群観光案内所 サービスのご案内
8:30~17:00 (年末年始 時間短縮営業) ☎0858-22-1200
観光ガイド受付/音声ガイド貸出/レンタサイクル/コインロッカー/車いす/手荷物配送サービス/貸傘/授乳室/おむつ替えスペース/ほどこ紙等の販売
※距離表示は観光案内所からの距離

玉川沿いの白壁土蔵

玉川沿いには白壁の土蔵が建ち並び、川にかかる石橋と赤褐色の石州瓦が倉吉特有の町並みを形成しています。玉川の南岸は、本町通りの北側に建ち並ぶ商家の裏側にあたり、外壁は腰廻りが杉焼き板の縦目板張り、上方が漆喰壁で統一されています。また、それぞれの土蔵の戸口には、ゆるやかな反りをもつ一枚石の石橋が架けられ、独特の景観を醸し出しています。

土蔵各戸の戸口位置に石橋が架けられています。

伝統的な町家

本町通りの伝統的な町並みは赤茶色に施釉された耐寒性の強い石州瓦の棧瓦が用いられていて、山陰独特の赤瓦屋根の景観美を形成しています。切妻づくりの平屋・中二階・二階建の平入りの商家が軒を並べます。

町家の空間構成

典型的な町家は、間口より奥行きが深い短冊型の敷地に、道路に面して主屋を建て、主屋の背後には中庭を設け、中庭の両側には便所や風呂・炊事場等の付属屋、背後に土蔵を構える構造となっています。

棟石

棟石は幅が広く扁平気味なもの。ほとんどの時代は古く、時代が下ると幅が狭くなり、成が高くなります。また、棟石の反りは時代が下るにつれて強くなる傾向があります。

腰壁

正面外観、一階の軒桁を支える腰壁は、倉吉の伝統的建造物の特徴づける細部意匠のひとつです。